

令和2年度 第1回 県政モニターアンケート調査結果

観光課観光地づくり係
(TEL 099-286-3005)

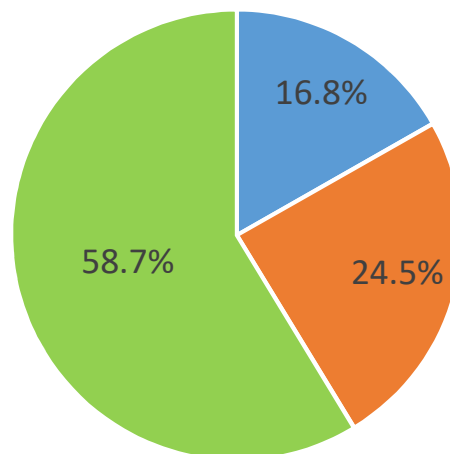
- テーマ 「ユニバーサルツーリズム（バリアフリー観光）」について
- 調査目的 ユニバーサルツーリズム（バリアフリー観光）の認知度等の調査を行い、今後の取組の参考とする。
- 調査期間 令和2年5月
- 調査対象数 200人
- 回答数 155人

問1 「ユニバーサルツーリズム（バリアフリー観光）」をご存じですか。

【回答数：155】

回答	回答数（人）	割合（％）
内容を知っている	26	16.8
言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない	38	24.5
初めて聞いた	91	58.7

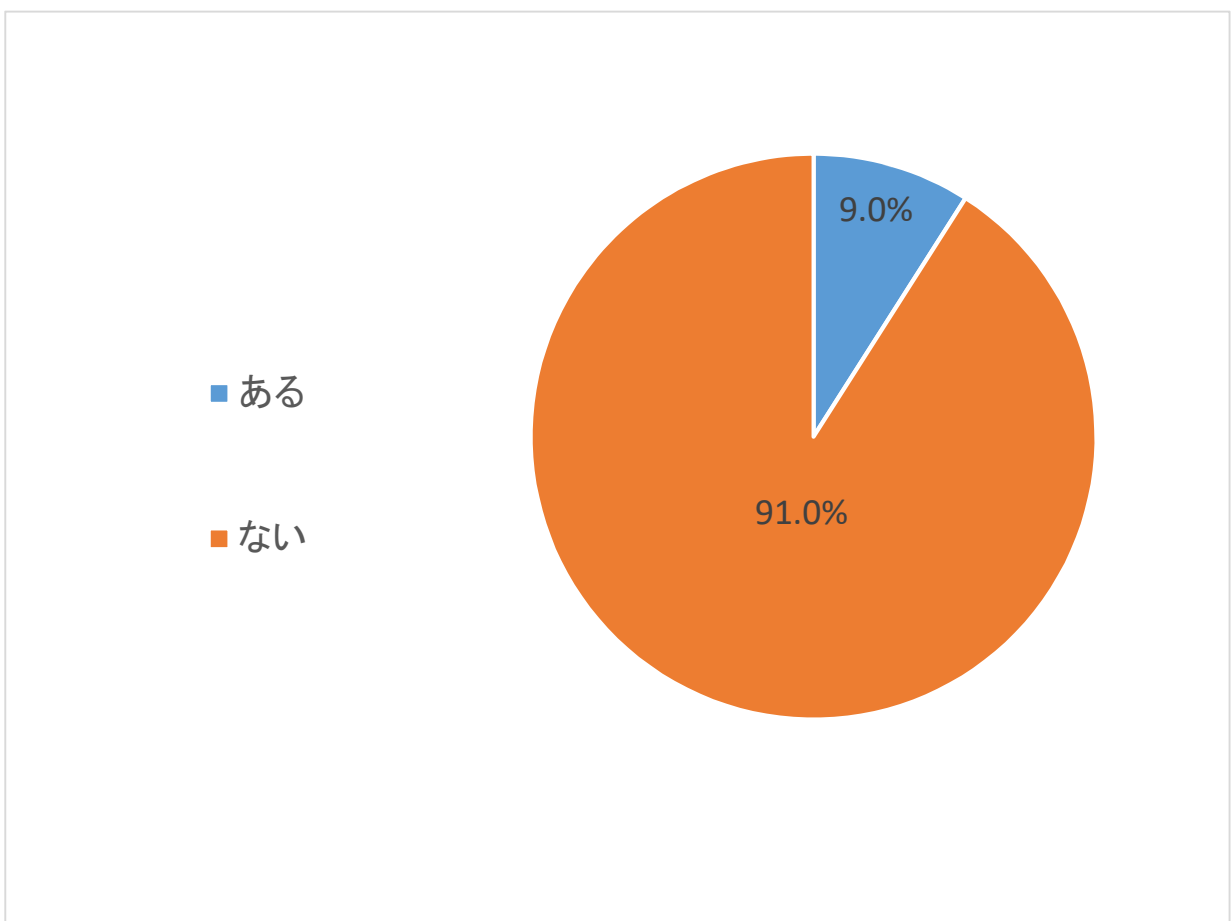
- 内容を知っている
- 言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない
- 初めて聞いた



問2 これまで、障害や高齢等を理由に観光・旅行を断念したことがありますか。

【回答数：155】

回答	回答数（人）	割合（%）
ある	14	9.0
ない	141	91.0



問3 問2で、「1」とお答えいただいた方に質問です。観光・旅行を断念した理由はなんですか（複数回答可）

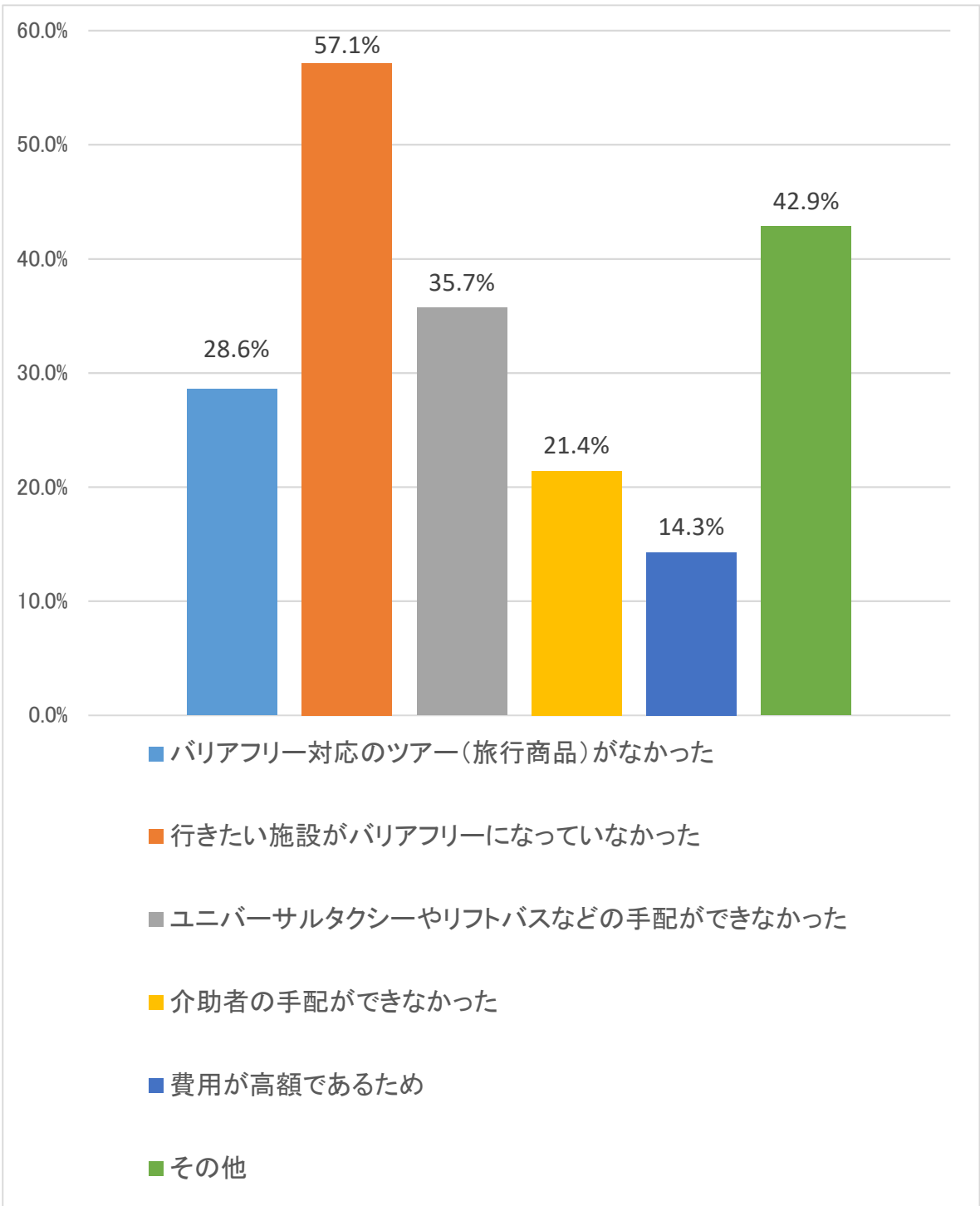
【回答数：28】

回答	回答数(人)	割合 (%)
バリアフリー対応のツアー（旅行商品）がなかった	4	28.6
行きたい施設がバリアフリーになっていなかった	8	57.1
ユニバーサルタクシーやリフトバスなどの手配ができなかった	5	35.7
介助者の手配ができなかった	3	21.4
費用が高額であるため	2	14.3
その他（ ）	6	42.9

※各割合については、「各回答数/14」で算出

○その他

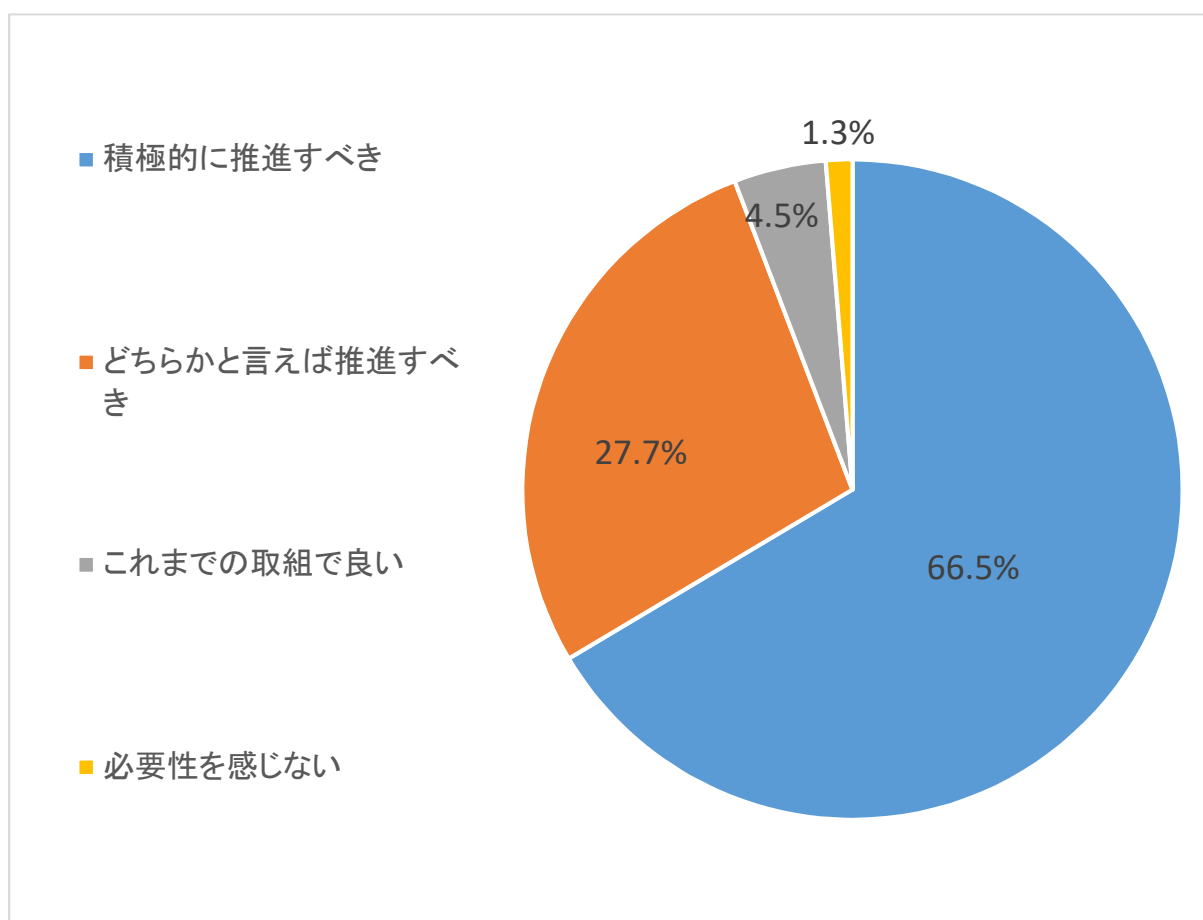
- ・ 駐車場にスムーズに止められるか心配。
- ・ 高齢や子どもが小さいため、長い距離を歩くのは難しいという理由で断念したことがある。
- ・ 県外への家族旅行を計画したが、高齢のため移動制限等があり断念した。
- ・ 妊娠中、お腹が張っていて歩行困難だった。
- ・ 内容そのものを、熟知していなかった。



問4 今後のユニバーサルツーリズム（バリアフリー観光）に関する取組について、どのように思われますか。

【回答数：155】

回答	回答数（人）	割合（％）
積極的に推進すべき	103	66.5
どちらかと言えば推進すべき	43	27.7
これまでの取組で良い	7	4.5
必要性を感じない	2	1.3



問5 ユニバーサルツーリズム（バリアフリー観光）を推進していくために、どのような取組が必要だと思われますか。（複数回答可）

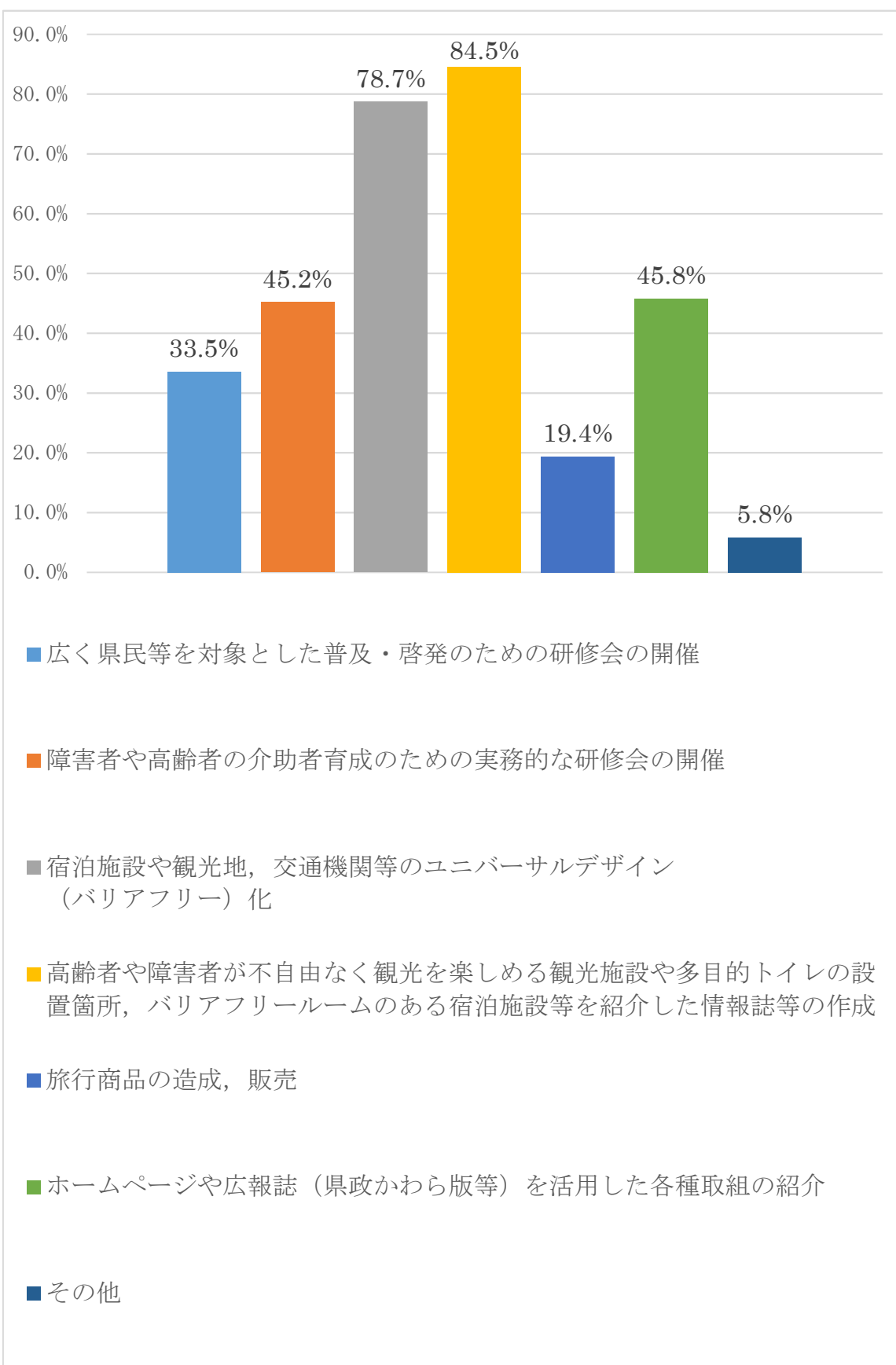
【回答数：485】

回答	回答数（人）	割合（％）
広く県民等を対象とした普及・啓発のための研修会の開催	52	33.5
障害者や高齢者の介助者育成のための実務的な研修会の開催	70	45.2
宿泊施設や観光地、交通機関等のユニバーサルデザイン（バリアフリー）化	122	78.7
高齢者や障害者が不自由なく観光を楽しめる観光施設や多目的トイレの設置箇所、バリアフリールームのある宿泊施設等を紹介した情報誌等の作成	131	84.5
旅行商品の造成、販売	30	19.4
ホームページや広報誌（県政かわら版等）を活用した各種取組の紹介	71	45.8
その他（ ）	9	5.8

※各割合については、「各回答数/155」で算出

○その他

- ・ バリアフリー観光に関する専門家との連携（優良先行事例の研究、ヒアリング、モニター調査の実施）
- ・ 体が不自由な方、高齢の方が訪れて満足そうにしている動画の発信、ポスターの作成。
- ・ 実際に車いすを活用し、エレベーターや多目的トイレ、街歩き、商業施設等での利用体験をするべき。
- ・ 高齢者や障害者の方々の旅行体験を通じて気づいた事等を見える形で提示するのがよいのでは。
- ・ 初めて聞く言葉なのでよく分からない。
- ・ 低所得の障害者や高齢者に割引等を適用させ、観光を楽しんでもらうこと。
- ・ メディアを活用し、多くの方に知ってもらう。



問6 ユニバーサルツーリズム（バリアフリー観光）についての自由意見

※一部のみ掲載（この他にも多くの御意見，御感想をいただきました）

【情報発信等に関すること】

- ・ 取組を推進している企業，施設の公表。
- ・ 観光案内所におけるユニバーサルツーリズムの対応した情報発信をもっとすべきだと思う。
- ・ 人生100年時代といわれている現在，可能な限り施設・観光名所には対応してもらいたい。まずは，言葉が広まって欲しい。
- ・ バリアフリーのための施設等を整え，国体などの機会を利用し，全国に向けてアピールすべき。
- ・ 今回初めて知ったので，認知度を高める取組が必要だと思う。
- ・ 旅行サイト（観光サイト）にアクセスした時に検索できると助かると思う。

【旅行商品等に関するもの】

- ・ 高齢者や障害者も公平に旅行できる機会をもっと多くして欲しい。
- ・ 広く県民等を対象とした公募型モニターツアー等を企画して欲しい。
- ・ 実際にどれくらいの需要（どのようなものが求められているか）が，あるのかを把握し，国内外の先進研究や事例を参考にしながら，ツアーを作り上げられると理想的だと思う。価格設定も重要なポイントの1つになると思うので，より多くの人々（ユニバーサルツーリズムを必要としている人々）に，届くような形の観光が整備されると，皆が幸せになれる観光の形が実現されるのではないか。

【施設整備等に関すること】

- ・ 今後、高齢を理由で介助が必要になった時、旅行を断念することが無いような施設の整備をして欲しい。
- ・ 車いすや歩行困難者に対して、優しい施設の整備をもっと推進しなければならない観光地がまだまだあると思う。
- ・ 鹿児島空港から鹿児島市内への空港バスは、車いす対応になっていないので、専用タクシー等を利用するしかない。熊本県は、車いす対応になっているようだ。まず、ここから始めないと。
- ・ 景観や歴史的価値を壊さないよう配慮をした上で、バリアフリーを推進して欲しい。
- ・ 屋久島のような自然環境が観光資源になっている場合、バリアフリー化と環境保護は両立しない。何でも全てバリアフリー化するのではなく、すべきところとあえてしないところを決め、バリアフリー化を進めるのが良いと思う。

【その他】

- ・ 障害者や高齢者が生きやすい環境を整えてほしい。また、身近なところから（まちづくりを）はじめてほしい。
- ・ 日常生活にバリアを感じることはないが、買い物や観光、旅行等で外出、宿泊する際、施設等のバリアフリー化が進んでいないと感じることがある。
- ・ 身体障害者の方々が、積極的かつ安心安全に参加できるように、バリアフリーシステムを強化してほしい。
- ・ 観光する時間や経済的余裕があるのは、高齢者が多いと思う。観光立県鹿児島を支える政策としてバリアフリー観光は大きな意義がある。
- ・ 障害や高齢と併せて、小さい子どもへの配慮が必要だと思う。
- ・ 専門家の育成が必要だと思う。

- ・ バリアフリー観光の推進にとっても賛成である。高齢者や障害者の方に、直接意見や困り事等を聞いて、必要なところは利用する方の目線や立場を考えて改善して欲しい。
- ・ これからの時代、大いにユニバーサルツーリズムを普及させるべきだと思う。